

熱い大人たちとの交流をととしてキャリア教育 ～丹波夢授業～

9月29日（木）、10月6日（木）の2回にわたって、「丹波夢授業」が本校の2年生を対象に実施しました。

これは、兵庫県が企画している将来ビジョンに沿って、自分たちで未来を作っていこうという趣旨のもとに集まった丹波市、篠山市の熱い思いを持った大人のみなさんが、丹波地域ビジョン委員として活動されています。メンバーのみなさんは、仕事の合間に時間をぬって縫って本校生徒のためにボランティアとして来てくださいました。

授業では、生徒が5～6人の小グループに分かれて、ビジョン委員のそれぞれのメンバーの方にインタビューを行い、現在どんな仕事をされているのか、高校時代はどんな生徒だったのか、社会に出られてから今までで一番大きな人生の選択になったのはどのような経験か、そのときにどういうことを考えどういう道を選んだかなど、人生経験を熱く語っていただきました。

メンバーのみなさんは、どなたも熱い思いといろいろな人生経験をお持ちで、生徒たちは真剣に聞き入っていました。大人から、このような形で人生についてお話を聞くことは今までにあまりなかったのではないのでしょうか。

「進路指導」とともに、「キャリア教育」という言葉を最近はいろいろな場面でよく見かけます。「キャリア教育」という用語は、平成11年の中央教育審議会答申で初めて出てきたようです。

「キャリア教育」とは、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」とされています。

「進路指導」ではなく、「キャリア教育」の重要性が指摘されているのは、「学ばない子どもたち」「働かない若者たち」への対応が大きな教育の課題となっていることが、その背景にあります。

高校時代には、将来何をしたいのか、何になりたいのか、そのためには大学へ進学すべきなのか、専門学校に進学すべきなのか、それとも就職する方がよいのかをしっかりと考えさせることが必要です。

2年生は、この夢授業を受けて、10月19日からそれぞれが希望する企業等で「インターンシップ」を3日間実施します。本校においても、「自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるキャリア教育」に取り組んでいます。



（校長 高橋信之）